

臨床研究へのご協力をお願い

水戸医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している方の個人情報等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

また本研究は観察研究であり、研究対象者への侵襲や介入がなく、診療情報などの情報のみを用いて実施されます。研究対象者の同意を得ることは時間・費用等に照らし研究の遂行に支障を及ぼすため、研究の目的を含めて研究の実施についての情報を通知または公開して可能な限り拒否の機会を保障すること（オプトアウト）により実施します。

[研究課題名] 急性期脳梗塞の閉塞遠位血管を MRI 造影画像による評価に関する後ろ向き研究コホート観察研究

[研究代表者・機関の長の氏名]

独立行政法人国立病院機構水戸医療センター

脳神経外科 佐藤 允之

機関の長 米野琢哉

[研究の背景]

大きな脳血管の閉塞による脳梗塞の急性期に対してカテーテル治療による血栓回収手術は効果が高いことが報告され、標準治療となっています。しかし、閉塞した血管の先の状態が分からないため、カテーテル治療には血管を損傷してしまう危険性があります。造影剤を用いた MRI 画像で閉塞した血管の先の状態を確認することが、安全で有効な血管内治療につながるかどうかを検討します。

[研究の目的]

血栓回収療法時に撮影する MRI 灌流画像後の血管描出（3D FLASH）により血栓長、近位血管径、閉塞遠位血管の分岐形態を評価する。。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

脳主幹動脈閉塞による急性期脳梗塞の患者さんで、西暦 2020 年 4 月 1 日から西暦 2026 年 3 月 31 日の間に脳血管内治療を受けた方

●研究期間：院長許可日から西暦 2028 年 3 月 31 日

●利用開始日：西暦 2024 年 6 月 1 日

●利用する試料（血液・組織等の検体）、カルテ等の情報

試料：なし

カルテ等の情報：

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）

●試料や情報の管理

情報は、研究代表機関である水戸医療センター内の脳神経外科研究室内の鍵のかかるキャビネットで保管し、集計、解析が行われた後、研究代表者が適切に保管・管理します。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する試料や情報を院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。

将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用（二次利用）する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて倫理審査委員会及び研究機関の長の承認を得て実施となり、その内容は参加機関のホームページ等で公開されます。

[研究の資金源、利益相反について]

この研究は、国立病院機構の資金を用いて実施されます。この研究における当院の研究者の利益相反については、当院の臨床研究利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。また、研究組織に係る研究者の利益相反については、それぞれが所属する機関において、適切に管理されています。

[研究の参加について]

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料（血液・組織等の検体）やカルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構水戸医療センター

脳神経外科 佐藤允之

電話 029-240-7711 FAX 029-240-7788